

HTK 通信

通巻 1645号(1989年4月6日第3種郵便物承認)

2022年9月11日 NO. 460 毎月 1、11、21、25、28 発行

発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会

編集特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会

〒732-0052 広島市東区光町 1-11-5-508

電話(082)568-6770 FAX(082)568-6771

HP <http://hirotsuiken.com/>

e-mail hirotsu-ken@nifty.com

2022年9月の通信

p.1 情報保障

p.2~4 サマーフォーラム in いばらき
岩国で咲む上映案内 p.5 健康対策
会議から p.6 伝承班 p.7 広島県障
害支援課から相談員募集

p.8~9 アイラブからこんにちは

p.10 医療班からこんにちは

p.11 広通研本棚 p.12 原爆の紙芝
居 p.13~ お知らせ各種

p.20 広通研カレンダー

手話での情報保障

理事長 宥免千英子

首相会見や知事会見に手話通訳が付くことが増えてきました。それは大変良いことなのですが、よくよく見ていると、テレビの画面の手話通訳は全てが映っていないことが多いです。

「令和」の元号が発表された時のような生放送であれば、手話通訳をワイプで挿入していますが、ニュース番組の中では、首相や知事の顔がアップになり字幕がついての放送となってしまうます。せっかく手話通訳者がいるのにもつたいないですよ。手話が第一言語である人たちへの理解がまだまだ進んでいないというところでしょうか。

日本聴覚障害新聞9月号に「長崎の平和祈念式典での中継初・手話通訳ワイプ挿入 全国に発信」という記事がありました。8月9日の平和式典のテレビ中継に、式典に配置している手話通訳者がワイプに登場したという内容です。

NHKは今後「国民の関心が高い式典や会見を生放送する際には、できる限り手話通訳を放送する」そうです。大変喜ばしいニュースですが、広島に暮らす私たちにとっては課題ができました。

広島8月6日の平和記念式典では、手話通訳者は参列席に対して配置されているだけです。テレビ中継を見ている人への手話通訳はありません。平和宣言を読み上げる市

長の隣に、平和への誓いをする子供たちの隣に、ぜひ手話通訳を配置して頂きたい、そして手話通訳をワイプに入れてテレビ中継をして頂きたいと願います。

5月に施行された新しい法律は、これらの問題を解決する一助となるのでしょうか。手話による情報保障への理解が深まることを期待したいものです



第55回全国手話通訳問題研究集会

〜サマーフォーラムinいばらき〜

8月20日(土)、8月21日

(日)の2日間オンラインで開催され、広島支部からの参加者は8名でした。参加視聴報告、感想をいただきました。

講座②「コミュニケーション」

西部ブロック 大村宣枝

講師 清水愛香氏(全日本ろうあ連盟青年部中央委員長)

清水さんは3歳で失聴し、難聴者として補聴器を使いながら普通学校で学びました。高校を卒業する頃に聴力が落ち、親戚に誘われた手話サークルで手話と出会います。

要約筆記を利用して地域の手話奉仕員養成講座に通い、ろう者から青年部を紹介され、

今では全国の仲間と活動中です。

私がこれまで出会

い、学んできたろう者は自分より年上や同世代がほとんどで、今回、若いう者から「コミュニケーションとは?」「コミュニケーションの移り変わり、コロナ禍における聴覚障害者の現状、当事者が求めていること等を学び、時代の変化を実感するとともに大いに刺激を受けました。

清水さんはコミュニケーションの意味を「自身の経験から次のように語っています。「自分の言いたい意味を相手が正しく理解したか、自分は相手の話す意味を掴めたか、それができて初めてコミュニケーションがとれたといえる」「そ

れには情報保障が十分にあり、それが大切」と。

テレビ電話の普及により手話でコミュニケーションがスムーズにとれるようになり、青年部ではLINE、メール、Zoomが活用されているとのこと。また、人工内耳、ヒアリンググループや音声認識アプリ(プギーボード、UDトーク)の紹介もあり、20年ほど前までは手紙やFAXだけだったコミュニケーション手段は様変わりしています。

ICTはコロナ禍によりさらに広まり増えています。「便利な新しいものに挑戦することは大切です。誰もが最初は初心者なのだから少しずつ覚えてみんなで進んでいきましょう。」「新しい情報機器やアプリに、つい二の

足を踏んでしまう私の心を見透かすような講師の言葉に触発されました。焦らずに挑戦してみようと思います。

「聞こえる人と一緒に楽しみたい。」清水さんの率直な思いに、手話と関わり始めたころの懐かしい気持ちがいまも残りました。通訳者の命を守ることの大切さにも言及される清水さん。「素直に頑張ろう!」と勇気をいただいた講演でした。

講座③「福祉と人権」

講師 石原保志氏(筑波技術大学学長)

筑波技術大学では在学する学生だけではなく社会人(聴覚障害者及び彼らの支援者)向けの講座(リカレント教育)や他大学の聴覚障

害学生に対する支援を行っています。

石原さんの話は、ろう者と職場を共にする中でのつまずきやコミュニケーションの難しさを感じている私のもやもやの正体を気づかせてもらったように思いました。

「これは何？」という問いかけを例として、

夕食のスパゲティを見て子供が母親に「これは何？緑の物体は何？名前は？」と尋ね、母親は「ピーマンよ。」と答えます。

もう一つの例は、職場で上司から部下への問いかけの「これは何？」。

部署全体が忙しい時期に、部下が有給休暇の申請を出しました。それに対して上司が一言。「これは何？」(彼女

と2週間海外旅行だって？)の忙しいのに休暇をとれると

思っているのか？)つまり拒否を意味した一言なのですが、「これは何？」だけで上司の気持ちは部下に伝わるでしょうか？

言葉では表現されないが経験や形式、実践から得た知識を暗黙知といい、その暗黙知の発達や習得に必要な生活言語力はコミュニケーションの積み重ねのなかで身についていくそうです。

石原さんは教育者の立場で、聴覚障害学生が生活言語力を身につけるために、自分に必要なことを自ら意思表明していく(社会的セルフアドボカシースキル)こと、社会の合理的配慮、対応が

必要であることを深く話されました。

日頃、職場では手話で会話し、通じ合っているはずと思う。お互いに伝えた、聞いたはずなのに、後になって行き違いや漏れやミスが起きる。なんでそうなるのか…。

私とあなたとは生きてきた時間も場所も違うのだから生活言語力も違っているという事がわかっていませんでした。これは日本語で会話している時も同じだと痛感しました。明日からの仕事に活きる講座でした。

第1分科会「手話通訳の仕事と活動」報告

佐伯ブロック有免千英子
奈良集会以来3年ぶりにも
たれた分科会ですが、事前収

録のオンラインで、どのような形になるのだろうと興味津々で参加しました。

計4本のレポート発表があり、それぞれのレポートに対して司会者や共同研究者から質問していくことで、討論とまではいかないまでも、理解を深めることができました。

「設置手話通訳者班会について」

鹿児島県内の各市町の設置通訳者が、自治体職員とセットになることで、県主催での集まりを開催できることになった経緯について報告がありました。「設置」という言葉にとらわれて、庁舎外に出ることができない設置通訳者がいて、なかなか集まるのが難しかった中、県の手話言語条例が制定された

ことをきっかけに、理解を求め
て開催にこぎつけたそうです。

「県を超えた試み NA オンラインパーク」

全通研の次世代を担う若い
人の集まり「N-Action」
の活動の報告でした。2020
年に富山で開催したN-Act
ion合宿をきっかけに、グルー
プLINEを作った北信越プロ
ダクションの皆さんが、オン
ラインで繋がりながら、イベン
トを開催したということでした。

「画面での手話通訳とその特徴」

タブレット端末等を使った遠
隔手話通訳や、オンライン会議
での通訳、テレビ通訳や動画配
信での通訳など、近年増えてい
る画面通訳についての特徴と課
題をまとめた報告でした。対面

で行う通訳とは違った技術が
必要となり、役割の理解・啓発
を深めることや、人材の確保に
課題があるということでした。

「手話通訳現場対応力を考える〜コーディネート業務の現状〜」

札幌市の派遣調整を担う札
幌聴覚障害者協会でのコーデ
イナーの仕事についての報告
でした。11人いる職員は、正
職・常勤・嘱託と身分がバラバ
ラなのですが、コーディネータ
ーとしての研修や実践を通じて
技術を深めているそうです。

どのレポートも興味深く、も
う少し詳しく聞いてみたいこと
もありましたが、集合型での分
科会でないことを残念に感じま
した。この続きはぜひ来年、徳
島集会で討議ができることを
期待したいと思います。

秋の映画上映会「咲む(えむ)」

2022.9.23(金・祝) ①10:30 開演(10:00 開場) ②14:00 開演(13:30 開場)

シンフォニア岩国 多目的ホール

【全席自由】高校生以上 1,200 円 / 小中学生 500 円

※乳幼児・盲ろう者通訳・介助員 無料

★上映前には**岩国聴覚障害者福祉会による手話の紹介**を行います。

★視覚障害者向け**音声ガイド「UDCast」**対応公演です。

・申込み、問い合わせ

シンフォニア岩国 TEL:0827-29-1600

〒740-0016

山口県岩国市三笠町 1-1-1

TEL : 0827-29-1600 FAX : 0827-29-1609



健康対策担当者会議

(8/27) 報告

理事 神辺幸成

全通研の健康対策担当者会議が8月27日、オンラインで開催され、参加しました。

執行理事で健康対策部長のお隣山口支部の伊藤利明さんからプレゼンテーションがあり、その後、ブレイクアウトルームでグループに分かれて情報・意見交換を行い、最後に各グループの話した内容を聞きました。

プレゼンの内容は「雇用された手話通訳者の動態調査」「登録手話通訳者のアンケート調査」等からまとめられたもので、資料は会員専用ページにあるので、是非ご覧ください。

いろいろな研修会・学習会で言われていることですが、手話

生きと働ける社会をみんなで作ろう！

・頸肩腕障害に詳しい専門医がいない。等の意見が出ました。

通訳者集団の高齢化は進行している、手話通訳業務の社会的評価が低い、頸や肩の痛み率は大きな改善が見られない、ストレッチ体操や特殊健診の実施率は向上しているが学習会への参加率は低下している↓公的な手話通訳制度の強化を！養成課程における専門性の確立を！正規職員雇用の確立を！そして、私たちにできることは、報告書やパンフレットから全国

の状況を知る、自分の地域の状況を知る(サークル、職場、学習会等で情報を集める)、地域の人たちと意見交換する、近い未来の目標を設定する、学んだことや課題を運動につなげる…ろう者の人権を守り情報保障を担う手話通訳者が生き

全通研の健康対策部はこの会議の他、全国の手話通訳者の実態調査(今回は2025年度)及び動態調査(毎年)、実態調査学習運動、健康フォーラム、けいわん患者との懇談会、けいわん110番、「健康対策部ニュース」の発行、支部・ブロックへの学習会・活動支援、健康普及員研修、健康普及員スキルアップ講座等を担当、取り組まれています。

グループに分かれての情報・意見交換では、手話通訳者の健診後、茶話会を開いていたが、コロナ禍の中、実施できず、気軽に話せる場がなくなりました。

「けいわん」に苦しんでいる仲間を把握しにくい。

・頸肩腕障害に詳しい専門医がいない。等の意見が出ました。

広島からは支部や中国ブロックで取り組んできたことを報告しました。けいわん患者が出た市や教育委員会に対しての署名運動、井手政子ヘルスケアトレーナーのリラクゼーション講座、健康対策委員のリラクゼーション出前講座、宇土博医師の講演会、友和クリニック協力のもと、けいわん健診の実施やその費用補助等々…かつては各ブロック(地域班)に健康対策担当がいましたね。

「コロナ禍で人に会うことやいろいろ語り合うことが少なくなっていますね。みなさんの周りの方々は健康ですか?もちろん自分自身の体調に気をつけて!しんどい時は無理せず休みましょう。

手話で語り継ぐ被爆体験伝承者の会

伝承班 仲川文江

今年も8月15日終戦記念日が来ました。

この時期になると決まって思い出すのが呉で体験した空襲です。私は5歳でした。父が軍需工場に勤めていた関係で呉にいました。工場で鉄砲を詰める箱を作っていたそうです。

3歳の弟と一緒に保育園で母の迎えを待っていました。なかなか来てくれません。待ちきれなくて二人で先生の目を盗んで帰宅する途中空襲警報が発せられ近くの家に逃げ込んで助かりました。警報が解除されて迎えに来る途中の母と会い、すごく怖い顔で叱られま

した。母の怖い顔を見たのはこの時だけ。本当にやさしい美人の自慢の母でした。

またある時、父と二人で橋を渡っていて空襲警報に会い、父に「空、空」を指さして知らせると父は私を背負って一目散に走って建物に駆け込みました。この時父一人だったら警報は聞こえなかったのどうなただろうかと今だに思い出します。

夜間警報が鳴ると家の中の電灯は一斉に消さなければなりません。電球の傘に黒い布をかけるのですが、警報が聞こえない私の家ではそれができません。何度か注意を受けていたようですが、ある日軍人さんが土足で上がり電球を外して持ち帰ってしまいました。

父は私を連れて軍に行き、「電球を返してほしい」と訴えましたが返してくれません。「私が消します」と訴えてやっと返してもらいました。

5歳の私の訴えでも聞かざるをえなかったでしょう。電灯の光のない夜は聞こえない両親には命にもかかわる大事であると軍人もわかっていたのでしよう。それからは本当に私が消していたようです。自分では覚えてないのですが語り草になっていました。

ろう者の被爆体験の聞き書きをする中で被爆していないろう者の気持ちを聞いたことが2例あります。若い夫婦と小さい子ども1人の家庭が村八分状態になったことがありました。夫妻はもとも村で育ったのですが聞こ

えないことで夫は戦場に行っていない。戦火が激しくなり従軍していった村人にも戦死が増えてくると聞こえない家族に対して妬みが生じて仲間はずれが高じ、小さい子供までもいじめを受けるようになって食べる物にも事欠き、息を潜めるように暮らしたそうです。戦争が村人をキチガイにしたと激しく語った彼らが忘れられません。

もう一つは、たまたまお会いしたろう者でしたが、「戦争中は良かった。工場の仕事があつて、お金をもらつてご飯が食べられた。戦争がすんだら誰も相手にしてくれんし仕事もない。貧しゆうて寂しい。周りは知つた人もおらん、つまらん。『また戦争が始まればいいのに』」と話されたのがやりきれなく切なかつたです。



平和ってみんなを幸せにはできないの？胸が痛みました。
ロシアのウクライナ侵攻のニュースを見るのは辛いです。ロシアが核使用をチラつかせているのも耐えられません。
被爆体験を聞き書きした私はろう者の二重三重の苦しみ、静かに激しく平和を願う心を語り継ぐ責任を更に強く思います。

広島県健康福祉局障害者支援課からのお知らせ

【ろうあ者専門相談員募集】

- 1 募集人員 会計年度任用職員(ろうあ者相談に関する事務など)
尾道市1名 福山市1名
- 2 応募資格 手話通訳士又は手話通訳者の資格を有する、または聴覚障害者でろうあ者と手話で堪能に話ができる。
パソコンの基本操作(簡単な入力作業)ができる方。
普通自動車免許所有者。
- 3 労働条件等 県の規定等による。勤務日数は月 20 日以内で、
1日6時間程度(8時半～17時15分の間)。社保完備。
- 4 応募書類 ①ハローワーク紹介状
②写真付き履歴書を事前送付、又は面接時に持参。
- 5 問合わせ先

就業場所	東部厚生環境事務所・東部保健所 (尾道市古浜 26-12)	同福山支所 (福山市三吉町 1-1-1)
電 話	0848-25-4611	084-921-1311
F A X	0848-22-5289	084-921-1364

※まずは、お気軽にお問い合わせください。

アイラフからこんごうちは

第3回

Aさんへ

三原彩子

私は「あの日」からずっと後悔しています。Aさんを思い出しているは、未だにミシン技術が未熟で、バックの作り方をなかなか覚えられない私を「しつかりんさい」と叱ってくれないかと思うことがあります。最後になってしまったあの日。帰り際に「バイバイ」と手を振ったあなたが、少し元気ないことに気付いていたのに。メールの返信がこないのは、体調不良ではないかと気になりながら、自宅にすぐに駆けつけなかったこと、何度も何度も後悔しています。連絡をしないで

休まれることもあったし、「家には来てほしくない」とも話をしていました。自宅に押しかけて嫌な思いをさせてしまうのではないかと、二の足を踏んでしまいました。

一人暮らしのあなたが、どんな思いで最期を迎えられたのかと思うと、涙があふれます。追いつ返されても嫌われても、自宅に駆け付ければよかった。本当にごめんなさい。



Aさんが使っていたミシンは、仲間のMさんが大事に使って作業をしています。MさんはAさんが亡くなった後ミシン作業を頑張るようになり、いろいろな作業を安心して任せられるようになりました。何よりその上達していくMさんの姿に救われています。

けれどもし、Aさんがいてくれたならば、300枚ものカバンの大量注文も難なく納品し、縫製商品のレパートリーはさらに増え、もっと活気あるグループだったと思うのです。本当に残念で悔しくて自分に腹が立ちます。

Aさんを忘れずにいることは、私自身への戒めです。目の前にいる仲間を誰よりも大事に思う自分でありたい、その気持ちには、Aさんへの償いだけでは

なく、自分自身を奮い立たせる原動力になっています。

【2021年5月28日Aさん逝去。享年56歳】

彼女は雨の日は気分が沈み、何もする気が起きないと家を出ることもできず、作業所も休みがちな方でした。自分に素直で、仲間や職員に気持ちをぶつけることもしばしば。そんな彼女に真摯に向き合う同僚の姿も見てきました。

その年の4月から菓子工房から縫製グループに配属された私に、緊張しながらもいつも笑顔で応えてくれたAさん。職業指導員のBさんと師弟のような関係で、切磋琢磨しているのがとても印象的でした。熱心に指導するBさんのことを冗談めかして、「厳しいね」と私が

医療班からのごんごちは

西部医療班仲川文江

これまでとこれから⑤

1992年、広島大学に保健学科が新設され、受講を希望した36名の学生を対象に医療手話の講座を持ちました。

これを機に、授業に手話講座取り入れて欲しいと大学側に交渉しましたが、制約が多くて授業に取り入れるには難しいとこのことで実現しませんでした。希望者だけでも毎年続けたかつたと、取り組みの弱さが悔やまれてなりません。

現在、医療関係者手話講習会は全25回で構成され、毎年5月から11月頃まで、毎週木曜日の午後6時半から8時半

まで、復習30分、本編1時間30分という学習態勢で実施しています。

約半年間という長丁場で講座を実施できるのは、広島市からの後援名義の使用許可とい協力をお願いした結果であり、市の後援を受けていることで広島市地域福祉センターという会場を長期にわたって安定的に確保できることは、広島市医師会、広島市看護協会、広島市薬剤師会のソフト面での後援と相まって私たちに大きな励ましとなっております。

広島赤十字病院に「聴覚障害者外来」が開設されたことは医療班活動の中でも誇らしいことでしたが、運営の難しさから3年で閉めるに至り、活動のあり方を大いに反省させられました。

以前、広島市中区千田町に

社会福祉センターの活動拠点があつた頃、道路を挟んだ向かい側に広島市消防局があつて、ある日、消防局から「新しい救急態勢が出来たので見学に来ませんか」とお声がけをいただき、医療ネットワークのメンバーで参加しました。システムは素晴らしいものでしたが、「ろう者の自分たちには役に立たない」とポツリと手話つたことに消防局は敏感に反応してくださり、広島市消防局、市障害福祉課、医療班で何度も話しあつて、全国に先駆けて救急搬送24時間手話通訳体制が新設されるという思いがけない成果が生まれました。

医療手話辞典1・2の作成

医療講習会ビデオの作成

医療手話辞典、ビデオの配布

厚生労働大臣表彰

等は、これまで約40年間の活動の成果であり、この間、開拓と道筋づくりに努力しましたが聴覚障害者の受療権の確立はまだ道半ばです。

講座の継続と新たな目標を掲げて、次につながる活動を頑張りたいです。



医療手話辞典Ⅰ	2,800円
医療手話辞典Ⅱ	3,800円
追補版とセットで4,000円	

広通研の本棚から〜ろう者の被爆証言DVD①・②

南部ブロック：神辺幸成

ヒロシマの支部である広通研

先月の8月と言えば、8・6、8・9、8・15、テレビ・新聞でも特集が多く、戦争や平和について向き合う月です。図書館や書店でも特設コーナーが設けられていました。

では前理事長の仲川文江さんの「生きて愛して〜目で聞いたもう一つのヒロシマ〜」や「沈黙のヒロシマSILENTHEROSHIMA」の販売や「平和と手話通訳を考える集い」、伝承

代議員会報告でもお伝えし、全通研のホームページにも会員のみなさんに届いている全通研会報94にも「ウクライナへのロシアの軍事侵攻の即時停止を求めます」の特別決議が掲載されていますが、戦争や原爆についてろう者の視点で語られ、今改めて視聴することで忘れてはいけない平和や核兵器廃絶、戦争はやつてはいけないことを再認識できる動画です。

班の活動などがありますが、6月の全国ろうあ者大会で在庫がすべて売り切れたのがこのDVDです！その時の販売でちょうどしたエピソードがあります。それは事務所や注文の電話でお聞きくださいね。人に話したくなります。お亡くなりになったろう者もおられますが、私たちに語っていただいた在りし日の姿、被爆当時の状況、平和への思いなど

使用できます。

是非ご覧になってください。音声をカット(消音)して読み取りの学習にも

9月23日は「手話言語の国際デー」です。

三原市、東広島市は夜間「ブルーライトアップ」イベントを行います。

※ 青色は世界ろう連盟や国連のロゴの色を示しており、平和を表しています。

全日本ろうあ連盟は「世界そして日本を青色に！〜いのちの輝き手話言語に光を〜」チャレンジプロジェクトを行い、賛同する自治体や民間等に、全国各地の名所や施設を9月23日に青色でライトアップしてもらうことで、市民、地域、社会が一つとなって、「手話が言語である」ことへの認知を広めています。

三原市では市役所、東広島市では1週間前から「電子掲示板」でライトアップを知らせ、9月23日は東広島市立美術館において夜間点灯(日没から20時まで)を行います。

東広島市は、平成31年4月に東広島市手話言語の認識の普及に関する条例が施行されました。

原爆の紙芝居 手話語り

西部ブロック 板谷裕美

当日は人数制限により限られた人たちが参加できたのがとても残念でした。企画は生前の田中正夫さんのドキュメンタリー鑑賞、山口みゆきさんによる手話語り、そして山口みゆきさんの紙芝居に寄せる熱い思いを聞きました。

目を閉じれば8月6日の何気ない日常生活が一発の原爆投下により混乱した状況が目に見えかぶようでした。幼かった正夫さんにはあの日が忘れられない強烈な一日だったのでよ。

被災孤児となった田中正夫さんが、本当の家族、本当の自分の名前を探し続けた大切なものが少し見えたような気がしました。生前の映像を見るたびに、彼が大ファンだった

石原裕次郎スタイル”（上着を肩にかけてさっそうと歩く仕草）そして、投げキッス。思わず眼がしらが熱くなりました。日本聴力新聞の記事で彼の突然の訃報を知った時は声も出ませんでした。片手を「ヤアー」と上げて挨拶する笑顔の田中さんが今でも思い浮かびます。あの世で探し求めていた自分の本当の名前が分かったかなあ、ご両親と会えたかなあなど思いは尽きませんが、あの世から

私たちを応援してくれていると信じています。安らかにお休みください。合掌

研究誌161号

開いてみませんか

理事 竹内正三子

秋の気配が感じられるころとなりました。「読書の秋」しませんか？

お手元に届いた研究誌161号の記事を紹介します。グラビアは、「淡路ふくろうの郷」で13年間お仕事をされ、昨年新たに誕生した「神戸平野ふくろうの樹」の管理者として赴任された竹原哲章さんが、紹介されています。

「随想」は、テレビなどでコメントターとしても活躍しておられる、メディアアーティストの落合陽一さんです。

「手話」の魅力あることは141「は、山形県の小野善邦さん（75歳）です。子どもの頃の思い出から県ろう協の仲間づくりとその後の活動など活き活きとした手話表現が掲載されています。

特集は「高齢ろう者の暮らし」です。

チャレンジ手話クロスにチャレンジし、はがきを出しましょう！正解者の中から抽選で図書カードが当たります。

読まれた感想などを事務所に送ってくださいね。最近の地域での聴覚障害者や手話に関する情報などもお寄せください。

手話通訳フォーラム 2022

『手話で伝えたい! 地元の魅力 ～日本三大酒処 西条酒蔵～』



日 時 : 2022年**11月23日(水・祝日)**12:50～16:30

参加方法 : ①会場 東広島市市民文化センター研修室1・2 (定員 50 名)
②オンラインによる個人視聴 (定員 100 名)

記念講演(13:00-14:30)

テーマ 『西条酒蔵通り手話ガイド会の立ち上げと
全国ろうあ者大会での活動について 』

講 師 秋山明美さん (東広島ろうあ協会会長)
吉村富士子さん(西条酒蔵通り手話ガイドの会代表)

東広島ろうあ協会が「西条酒蔵通り手話ガイドの会」を立ち上げました。
全国ろうあ者大会 in ひろしまでは、観光コースの一つとして好評を頂きました。
立ち上げのきっかけから実現までを話していただきます。
皆さんの地元の活動に活かせる発見があるかもしれませんよ。

オプション(無料) 現地に集合して見学します。オンライン配信はありません。

西条酒蔵通り見学ツアー(15:00-16:30)

ツアーガイド 西条酒蔵通り手話ガイドの会

参加費 会 員 1,000 円
未会員 2,000 円

要綱・申込書は10月号『通信』に掲載します。予定に入れておいてくださいね。

主 催 NPO 法人広島県手話通訳問題研究会

見えなかった手話もみんなで学べば見えてくる！

佐伯ブロック ビデオ学習会

いつ：2022年9月26日(月)19時30分～21時

どこで：山崎本社みんなのあいプラザ 会議室

(廿日市市新宮 1-13-1 電話 0829-20-0555)

参加費：会員 無料 / 未会員 500円

申込み：中止の場合は連絡しますので

お名前と連絡先を記入し、事前申し込みをお願いします。

080-5614-2336 (大越)に ショートメールを送ってください。

中部ブロック ZOOM でビデオを見る会 その18

2022年9月11日(日) 9時30分～11時30分

必要な環境：Wi-Fi環境とカメラのついたパソコン、又はスマホが必要です。9月7日までに「ZOOM でビデオ見る会」で使うメールアドレスを添えて広通研事務所に申し込んでください。

研修部からお知らせ 予定に入れておいてください。

手話通訳者研修会

日時：2023年1月14日(土)午後～15日(日) 会場未定

講師：山口千春さん(千葉聴覚障害者センター)

理学療法士に学ぶ身体のメンテナンス(仮)

日時：2022年12月10日(土)13時～16時半 会場未定

講師：佐々木昭さん(理学療法士、佐々木塾代表)

手話通訳者研修会

日時：2023年3月4日(土)午後 会場未定

講師：西尾香月さん(手話通訳士)

2022年度会員継続と会費納入のお願い

会費(1万円/年 4月～翌年3月末)の納入をお願いします。

振込み口座：(振込手数料は各自ご負担ください)

ゆうちょ銀行 記号 01320-1 番号 4854 広島県手話通訳問題研究会

他行からの場合 当座 一三九店 4854

カレンダー 2022年9月号通信

9/8(木)	中部ブロック医療班学習会	東広島市総合福祉センター	19:00~21:00
10(土)	基礎からの学習会	広通研事務所	13:30~15:00
11(日)	ZOOMでビデオを見る会	ZOOM	9:30~11:30
13(火)	伝承班定例会	広通研事務所	19:00~21:00
15(木)	木曜朝の学習会	広通研事務所	10:30~12:00
〃	中部ブロック昼の学習会	東広島市総合福祉センター	10:00~12:00
16(金)	中部ブロックビデオを見る会	高屋西地域センター	19:00~21:00
17(土)	自主学習会	広通研事務所	10:00~12:00
22(木)	中部ブロック皆で誌上学習会	東広島市総合福祉センター	19:00~21:00
24(土)	基礎からの学習会	広通研事務所	13:30~15:00
26(月)	佐伯ブロックビデオ学習会	山崎本社みんなのあいプラザ	19:30~21:00
10/3(月)	理事会	広通研事務所・ZOOM	19:00~20:30
6(木)	木曜朝の学習会	広通研事務所	10:30~12:00
11(火)	伝承班定例会	広通研事務所	19:00~21:00

広通研の公式 LINE に登録をしてください。

友だち登録をお願いします。

研修会や講座の案内、参加申し込み、行事の案内、変更があった場合のお知らせを掲載しています。ぜひご活用ください。



公式 LINE は個々人が送った文章は他の登録者には表示されません。通常 AI(人工知能、機械)が応答しています。AI 応答後、個々に対応が必要な場合は手動に切り替えて担当者が返信する場合があります。ご意見等ご遠慮なく送ってください。

◆ 手話通訳者全国統一試験を目指す人たちの学習教材 22
【DVD】2021(令和 3)年度の試験問題と解答例を解説書に、実技
試験問題と解答例を DVD に収録。価格 2,750 円(税込)

◆ 手話この魅力あることば 51

徳田 千鶴子 氏 滋賀県、斎藤 繁 氏 青森県 2,250 円(税込)

◇ 2022年度会費を納入していただいた方には新しいパスワードをお知らせしています。届いていない方は事務所または理事、ブロック長にお問い合わせください。

HTK (通巻 1645 号) 通信 460 号

発行広島聴覚障害者定期刊行物協会

編集特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会

広島市東区光町 1-11-5-508

電話 082-568-6770 FAX 082-568-6771

メール hirotu-ken@nifty.com

年間購読料 2000 円(1部 200 円)正会員購読料は会費に含む